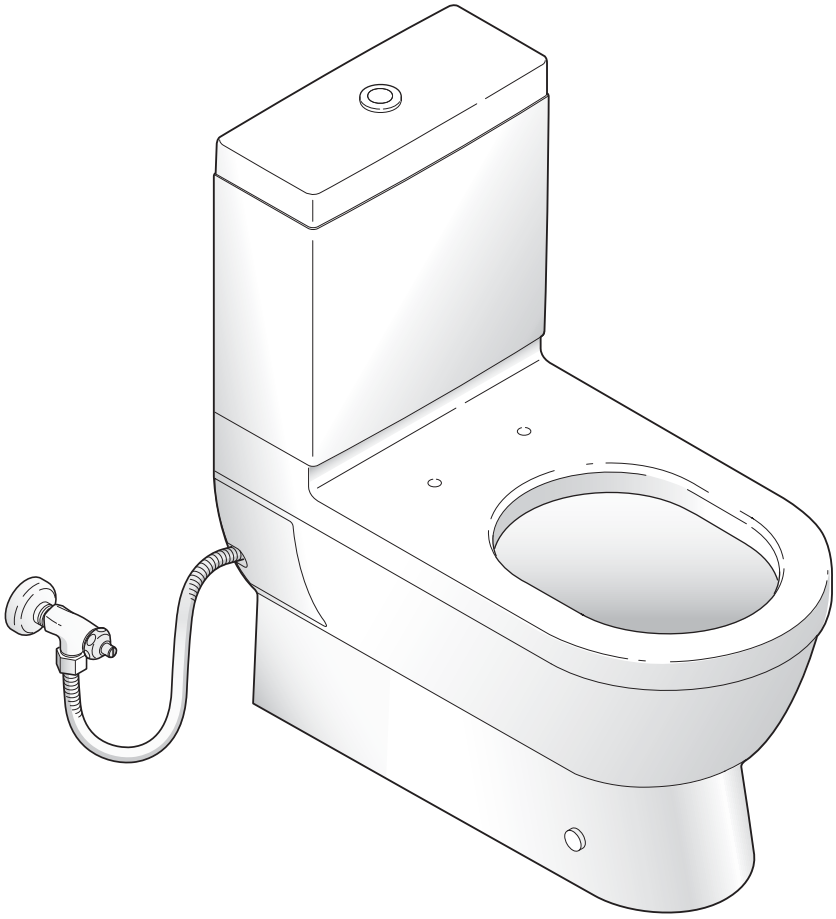
DURAVIT

## 腰掛便器・ロータンク

# 取扱説明書

| 品番 | 品名 | |
|---|---|---|
| #DU-2127010000S | 腰掛便器 | ノーマル仕様 |
| #DU-2127010000R | | リフォーム仕様 |
| #DU-0932000001 | ロータンク | |



●このたびは、腰掛便器・ロータンクをお求めいただきまして、
まことにありがとうございました。
●使用前に、この取扱説明書を必ずお読みください。
●お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

# もくじ

## はじめに


安全上のご注意 ..... 3

各部のなまえ ..... 5


## 使いかた


使用上のご注意 ..... 6

ご使用方法..... 6

・水の流しかた..... 6


## お手入れ


お手入れと点検のしかた..... 7

・お手入れ・定期点検時期の目安..... 7

・便器・タンクのお手入れ..... 8

・止水栓・フレキホースのお手入れ ..... 9

・ストレーナーの異物を取る ..... 9


## こんなときは？


タンクの給水量・水位を調節する..... 10

・給水量を調節する..... 10

・水位を調節する ..... 11

便器が詰まったとき ..... 12

凍結を防止する ..... 13

長期間使用しないとき..... 13

故障かな？..... 14

アフターサービス..... 15

・保証書と保証期間について ..... 15

・修理を依頼されるときは..... 15

・お問い合わせ先 ..... 15

保証書..... 16

MEMO ..... 17

# 安全上のご注意（必ずお守りください）

＊使用前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくご使用ください。

ここに示した注意事項および説明書の注意事項は、状況によって重大な結果（傷害・物損）に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

| | |
|---|---|
| ⚠ 警告 | 取扱いを誤った場合に、使用者が死亡、または重傷を負う危険な状態が生じることが予想されます。 |
| ⚠ 注意 | 取扱いを誤った場合に、使用者が軽傷を負うか、または、物的損害のみが発生する危険な状態が生じることが想定されます。 |

お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

| | |
|---|---|
| ⚠ 気をつけていただきたい「注意」を表します。 | 分解しないでください。 |
| ❗ 必ず実行していただく「強制」を表します。 | してはいけない「禁止」を表します。 |

## ⚠ 警 告

### ■全般

**●この説明書に記載された項目以外の分解や改造はしないでください。**
（止水不良、洗浄不良などの不具合や器具が破損し、ケガをしたり、漏水して家財などを濡らす財産損害発生の恐れがあります。）
**→修理の際は、お買い上げの販売店、工事店またはコールセンターに依頼してください。**

**●陶器にヒビが入ったり、割れた場合、破損部には絶対さわらないでください。**
**またそのまま使用しないでください。**
（破損部でケガをする恐れがあります。早めに交換してください。）

**●ストーブやヒーター、たばこなどの火気を近づけないでください。**
（火災や変色、変形の原因になります。）

## ⚠ 注 意

### ■便器詰まり

**●便器には、汚物、トイレットペーパー以外のものは流さないでください。**
（便器が詰まり、汚水があふれて家財などを濡らす財産損害発生の恐れがあります。）

**●一度に大量のトイレットペーパーを便器に流さないでください。**
（便器が詰まり、汚水があふれて家財などを濡らす財産損害発生の恐れがあります。）

**●タンクが満水になる前に流さないでください。**
（洗浄不良などの不具合や便器が詰まり、汚水があふれて家財などを濡らす財産損害発生の恐れがあります。）

**●芳香洗浄剤、ペットボトルなどは、タンク内に入れないでください。**
（水量が減少して、便器や排水管が詰まり、汚水があふれて家財などを濡らす財産損害発生の恐れがあります。また、内部部品を傷めたり内部部品にあたり、止水不良、洗浄不良になる恐れがあります。）

**●便器にものを落としたときは、必ず拾い出してください。**
（詰まった状態で水を流すと、汚水があふれて家財などを濡らす財産損害発生の恐れがあります。）

**●便器が詰まった場合は、スポイドゴム（ラバーカップ）を使って汚物を除去してください。**
（便器が詰まり、汚水があふれて家財などを濡らす財産損害発生の恐れがあります。）

## 安全上のご注意（必ずお守りください）

### ⚠ 注 意

#### ■破損

**●陶器に強い力や衝撃を与えないでください。**
（陶器が破損してケガをしたり、漏水して家財などを濡らす財産損害発生の恐れがあります。）

**●便器の中に熱湯を注がないでください。**
（陶器が破損してケガをしたり、漏水して家財などを濡らす財産損害発生の恐れがあります。）

**●フレキホースを無理に折り曲げたり、たばこの火などで傷をつけないでください。**
（フレキホースが損傷し、漏水して家財などを濡らす財産損害発生の恐れがあります。）

**●タンク内部のお手入れの際には、酸性・アルカリ性・塩素系の洗剤、ベンジン・シンナー・油などは使用しないでください。**
（タンク内部の器具を傷め、止水不良などの不具合や漏水して家財などを濡らす財産損害発生の恐れがあります。）

**●タンク本体にもたれたり、強く押したり引いたりしないでください。**
（タンクが破損してケガをしたり、漏水して家財などを濡らす財産損害発生の恐れがあります。）

**●タンクふたや洗浄ボタンは強く押したり、引いたり、たたいたりしないでください。**
（ふたが落下してケガをしたり、器具を破損する恐れがあります。）

**●サイドカバーを乾いた布やトイレットペーパーなどで拭かないでください。**
（サイドカバーは樹脂でできていますので傷がつく恐れがあります。）

**●直射日光が当たらないようにしてください。**
（変色の原因になります。）

**●凍結の恐れがある場合は、暖房するなどしてロータンク内や便器内の溜水を凍結させないようにしてください。**
（凍結破損でケガをしたり、漏水して家財などを濡らす財産損害発生の恐れがあります。）

#### ■その他

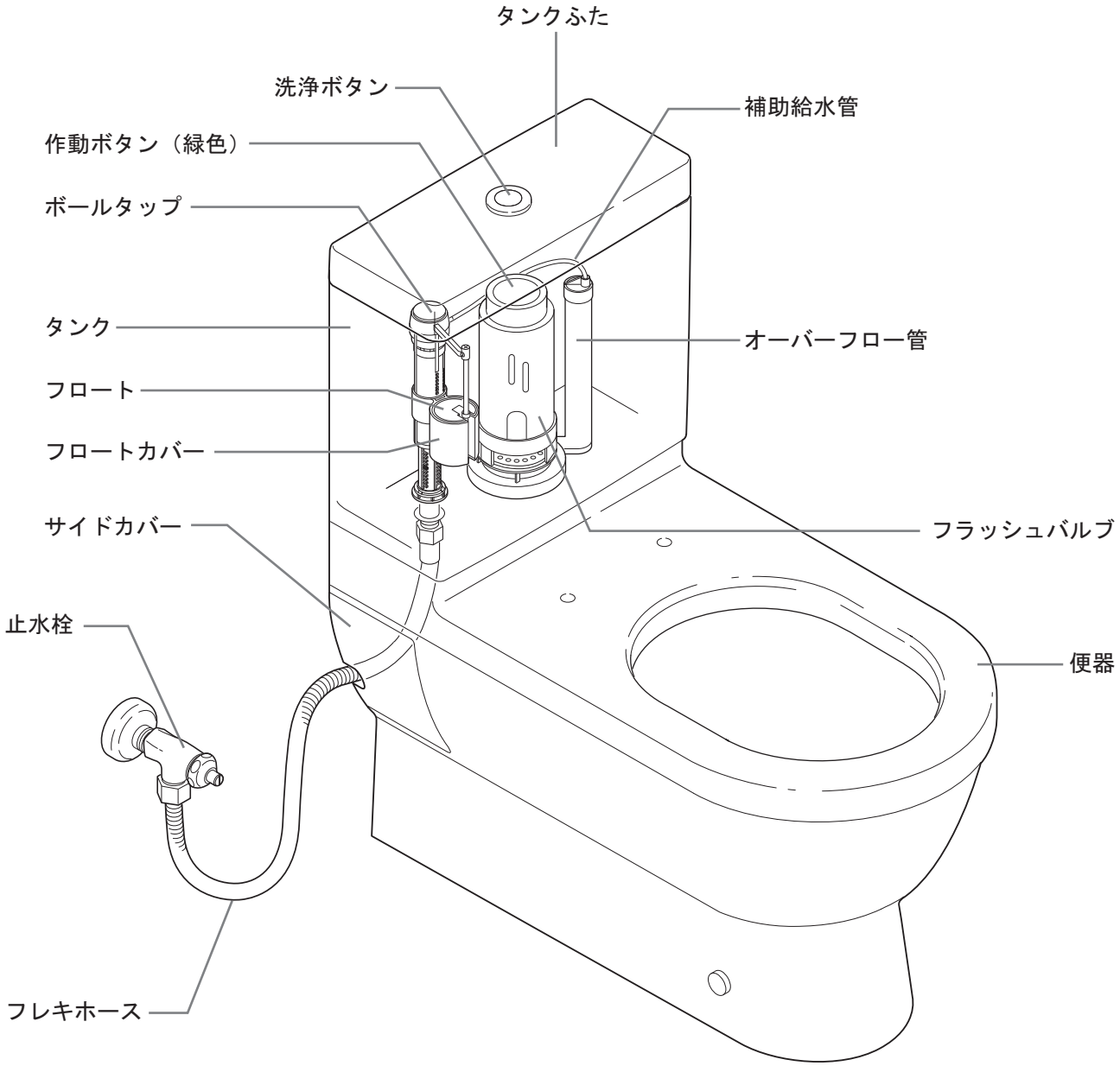
**●便器やタンクおよびフレキホースや止水栓の表面が結露した場合、乾いた布で拭き取ってください。**
（床にシミを作ったり、腐らせたりする恐れがあります。）
※換気扇を回したり、窓を開けるなどトイレの換気をすれば結露しにくくなります。

**●床に落ちた小便、露、洗剤、水などは必ずよく絞ったぞうきんで拭き取ってください。**
（放置しておくと床にシミを作ったり、腐らせたりする恐れがあります。）

**●点検、分解などを行うときは必ず止水栓を閉め、タンクの水を流してから行ってください。**
（止水栓を閉めないと水が噴出し、家財などを濡らす財産損害発生の恐れがあります。）

# 各部のなまえ




タンクふた
洗浄ボタン
補助給水管
作動ボタン（緑色）
ボールタップ
タンク
オーバーフロー管
フロート
フロートカバー
サイドカバー
フラッシュバルブ
止水栓
便器
フレキホース

# 使用上のご注意

**●必ずタンク内が満水になってから流してください。**
洗浄不良や詰まりの原因になります。

**●小便でも使ったあとは必ず水を流してください。**
便器の洗浄不良や詰まりの原因になります。

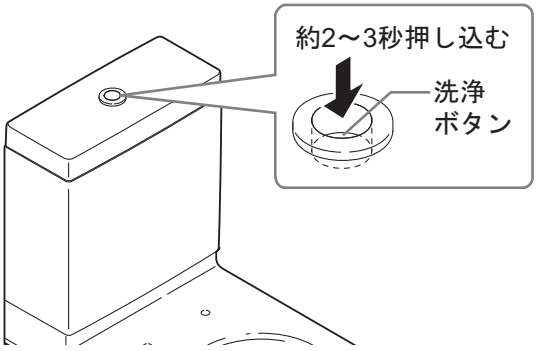
**●長期間留守にするときは、止水栓を閉めてお出かけください。**

**●小さなお子様や、お年寄り、身体の不自由な方が使用されるときは、十分に注意してください。**
故障やケガをする恐れがあります。

# ご使用方法

## 水の流しかた

**洗浄ボタンを奥までしっかり約2〜3秒押し込んでください。**
- 短く押すと水が流れません。
- 大便と小便の区別はありません。
- 連続して洗浄ボタンを押すと、水が流れないことがあります。その場合は、タンクに水が溜まるまでお待ちください。

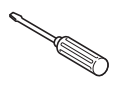



禁止
タンクふたや洗浄ボタンは強く押したり、引いたり、たたいたりしないでください。
（ふたが落下してケガをしたり、器具を破損する恐れがあります。）

## 洗浄ボタンを押しても水が流れない場合

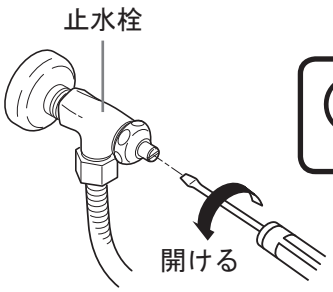
タンクに水が溜まっていませんので、止水栓を開けてタンクに水を溜めてください。

準備するもの



マイナス
ドライバー

**「マイナスドライバー」で止水栓を開ける。**
しばらくすると、タンクが満水になります。



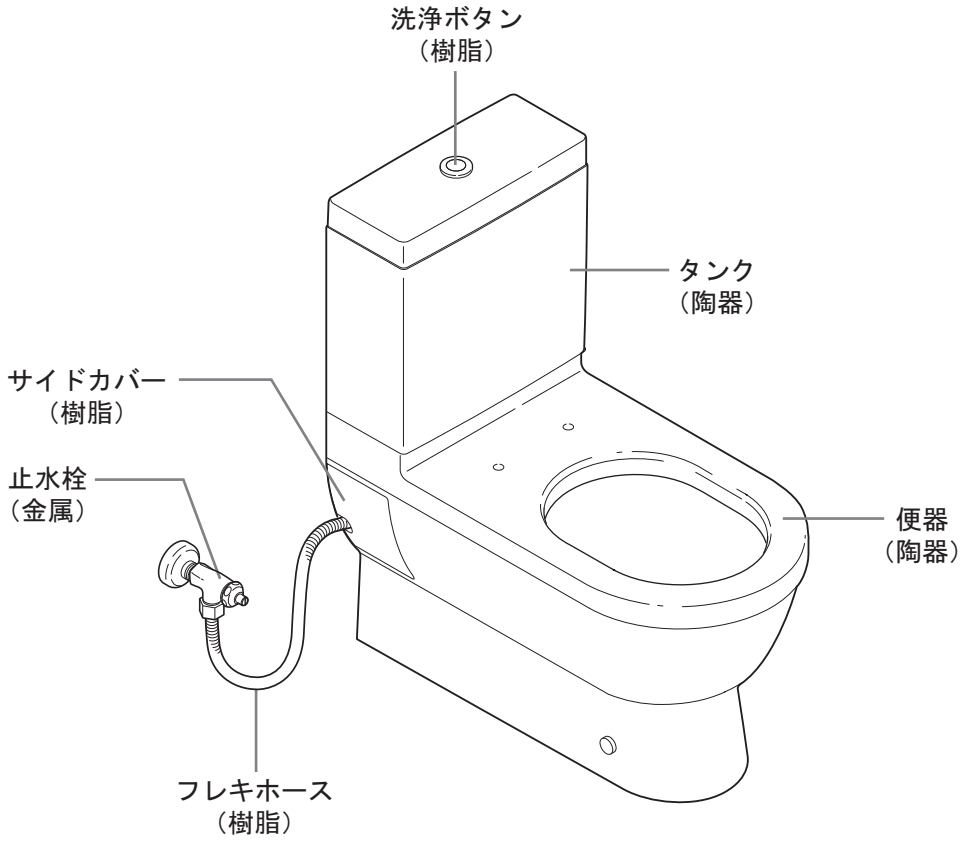

禁止
タンクが満水になるまで水を流さないでください。

# お手入れと点検のしかた

注意

お手入れの際は次のような物は使用しないでください。
（金属表面を傷つけたり、プラスチック部・塗装面を傷める恐れがあります。）
- たわし
- クレンザー・磨き粉など粒子の粗い洗剤
- 酸性やアルカリ性、塩素系の洗剤
- ベンジンやシンナー、油

## お手入れ・定期点検時期の目安



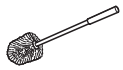

| | お手入れ | | 点検 |
|---|---|---|---|
| | 日常 | 週に1回 | 半年に1回程度 |
| 陶器 樹脂<br>便器・サイドカバー・タンク・洗浄ボタン<br>（8ページ） | • 便器の内側をブラシで水洗い<br>• 便器の外側を柔らかい布で水拭き | • 便器の内側を洗剤とブラシでこすり洗い<br>• その他は柔らかい布で水拭き | ヒビ割れ、欠け、がたつき、ゆるみがないかを確認 |
| 金属 樹脂<br>止水栓・フレキホース<br>(9ページ) | — | 柔らかい布でから拭き | • ストレーナーの異物を取る<br>• ゆるみ・傷み・破損・水漏れがないかを確認 |

## 便器・タンクのお手入れ

汚れをそのままにしておくと取れにくくなります。汚れたらすぐにお手入れをしてください。
便器の内側（陶器）・外側（陶器）・タンク（陶器）・サイドカバー（樹脂）・洗浄ボタン（樹脂）で使用する用具・洗剤が異なります。

準備するもの

陶器


トイレ用ブラシ
（樹脂製）

トイレ用
中性洗剤

柔らかい布

樹脂

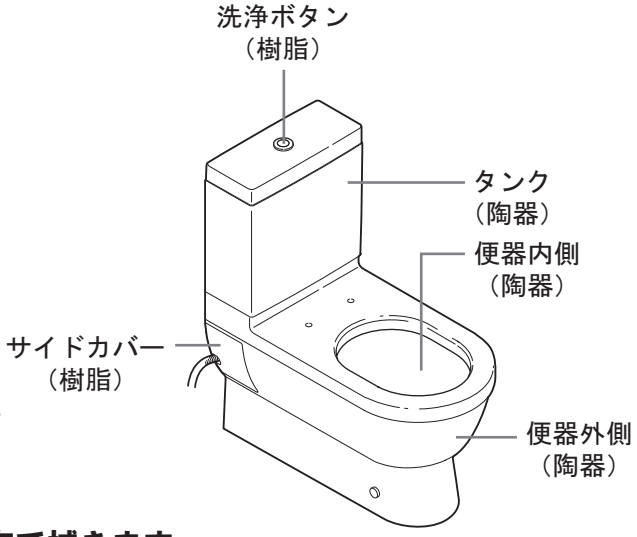
台所用
中性洗剤

柔らかい布

※乾いた布・トイレットペーパーは使用しないでください。

ふだんのお手入れ

**1 便器内側を、トイレ用ブラシでこすります。**
**2 便器外側・サイドカバーを、固く絞った柔らかい布で水拭きします。**
**3 タンクと洗浄ボタンを、固く絞った柔らかい布で水拭きします。**




汚れが目立つとき

便器内側

**1 トイレ用中性洗剤をかけ、しばらく放置します。**
**2 トイレ用ブラシでこすり、水で洗い流します。**

便器外側　タンク外側

**1 薄めたトイレ用中性洗剤を含ませた柔らかい布で拭きます。**
**2 固く絞った柔らかい布で水拭きします。**

サイドカバー　洗浄ボタン　※サイドカバーの取外しおよび取付けかたは14ページをご参照ください。

**1 薄めた台所用中性洗剤を含ませた柔らかい布で拭きます。**
**2 固く絞った柔らかい布で水拭きします。**

### 梅雨や暖房時の結露

室温と便器・タンクの表面温度差や湿度条件により、便器・タンクの表面に水滴（結露）が生じることがあります。

**結露を防ぐには、**換気を十分に行うのが効果的です。

**結露が生じた場合は、**乾いた布で拭きとってください。（結露水は床のシミや破損の原因になります。）

## 止水栓・フレキホースのお手入れ

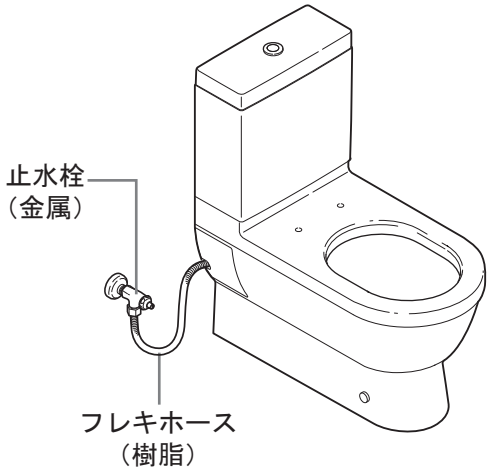
準備するもの

金属　樹脂

柔らかい布

ふだんのお手入れ

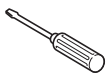
**乾いた柔らかい布でから拭きします。**



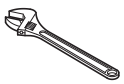

## ストレーナーの異物を取る

最初お使いになっていたときよりタンクに水が溜まる時間が長くなった場合は、ストレーナーを取外してゴミなどの異物を取除いてください。

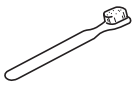
準備するもの



マイナスドライバー



レンチなど



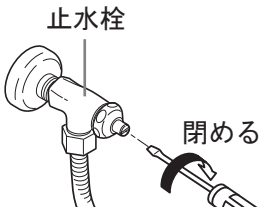
歯ブラシ

バケツなど

必ず実行

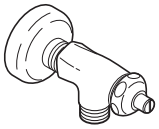
ストレーナーを取外す際は、必ず止水栓を閉めて水を止めてください。再度ストレーナーを取付ける際は、確実に締め付けてください。
（水の噴出しや漏水などにより家財などを濡らす財産損害発生の恐れがあります。）

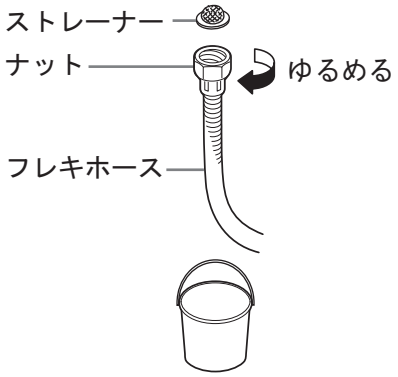
### 1「マイナスドライバー」で止水栓を閉め、水を止めます。




### 2「レンチ」などでナットをゆるめ、フレキホースとストレーナーを取外します。

フレキホースを外すと水が流れ落ちます。バケツなどを下に置いてください。






### 3 ストレーナーを水洗いします。

小さなゴミは歯ブラシなどを使って取除いてください。

### 4 逆の手順で元に戻します。

### 5 止水栓を開けて、各部に水漏れがないか確認します。

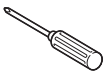
水漏れする箇所がある場合は、その箇所を施工し直してください。

# タンクの給水量・水位を調節する

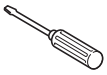
器具は、出荷時および施工時に調節してありますが、不具合があったり何かの都合で動かした場合、機能を十分発揮できるように、調節をしてください。

**お願い**　**節水のためタンク内にペットボトルなどを入れないでください。**

準備するもの



プラス
ドライバー

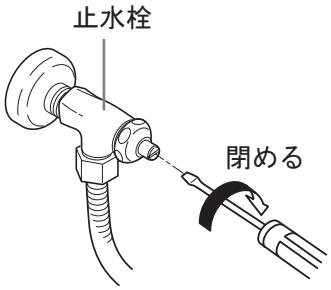


マイナス
ドライバー

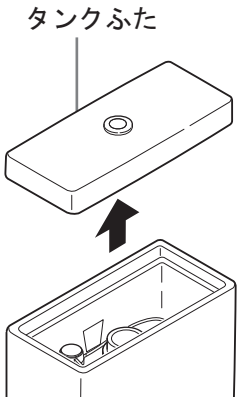
## 給水量を調節する

万一、ボールタップの故障で水が止まらない場合でも、タンクから水があふれないようにするために、次の要領で調節を行ってください。

**1「マイナスドライバー」で止水栓を閉め、水を止めます。**

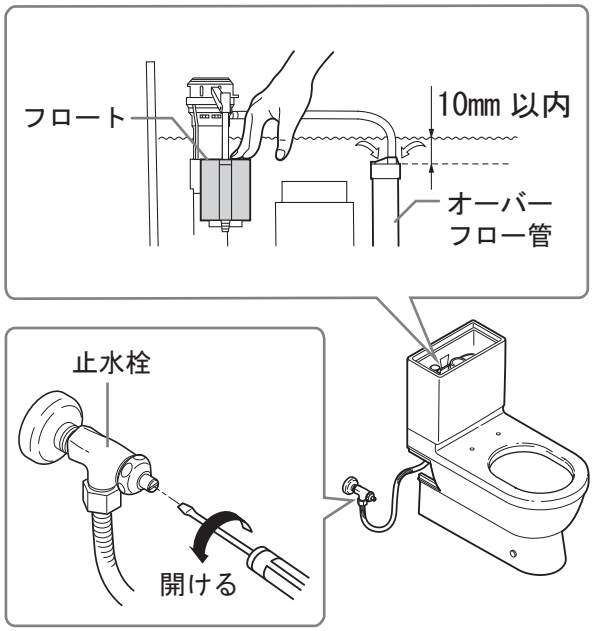



**2 タンクふたを取外します。**




**3 フロートを水中に押し下げながら、止水栓をゆっくり開けます。**

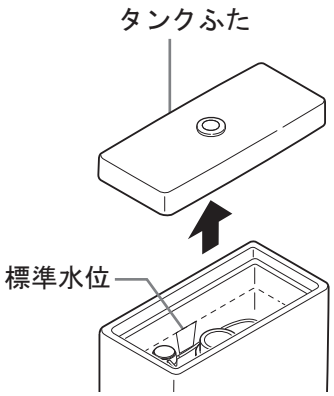
**4 その状態で水面がオーバーフロー管上端から10mm以内になるよう、止水栓を調節します。**




**5 タンクふたを元に戻し、一度洗浄ボタンを押して水を流します。**

## 水位を調節する

### 1 タンクふたを取外します。




### 2 タンク内の水位を確認します。

- 標準水位であれば、調節の必要はありません。
  タンクふたを元に戻してください。
- 標準水位と異なる場合は、手順3に進んでください。

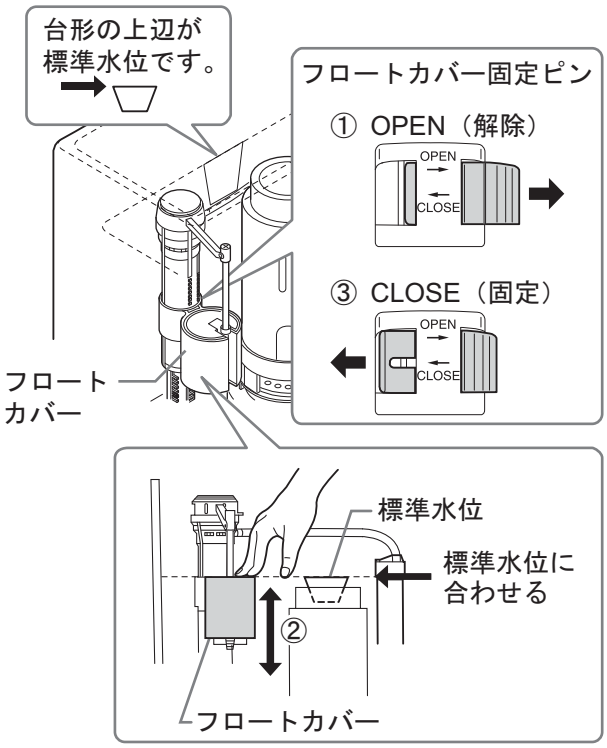
### 3 フロートカバーとフロートの高さを調節して標準水位に合わせます。

調節中に水を流す場合は、作動ボタン（緑色）を押してください。

①フロートカバー固定ピンを「OPEN」の位置にスライドしフロートカバーの固定を解除します。

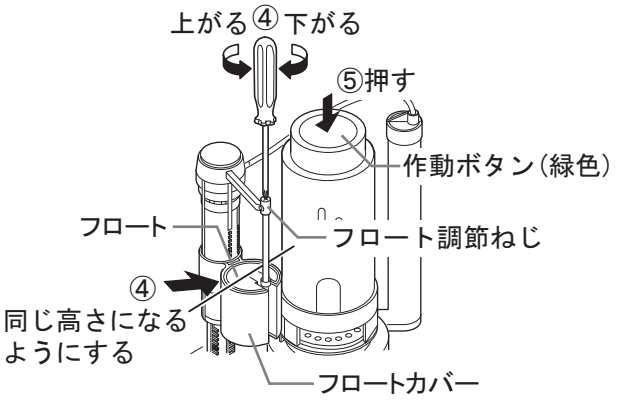
②フロートカバーを上下させ、フロートカバーの上面を標準水位（タンク側面の台形の上辺）に合わせます。

③フロートカバー固定ピンを「CLOSE」の位置にスライドしフロートカバーを固定します。




④「プラスドライバー」でフロート調節ねじを回し、フロートカバー上面とフロートの上面が同じ高さになるように調節します。

⑤作動ボタン（緑色）を押して水を流し、標準水位で止水するか確認します。




### 4 タンクふたを元に戻します。

# 便器が詰まったとき

禁止

- 固形の異物（ボールペンや歯ブラシなど）が詰まった場合は、スポイドゴム（ラバーカップ）を使用して除去しないでください。
  お買い上げの工事店または専門業者にご連絡ください。
- 便器が詰まった場合は、続けて水を流さないでください。

便器が汚物やトイレットペーパーで詰まったときは、市販のスポイドゴム（ラバーカップ）を使用し、詰まりを取除いてください。

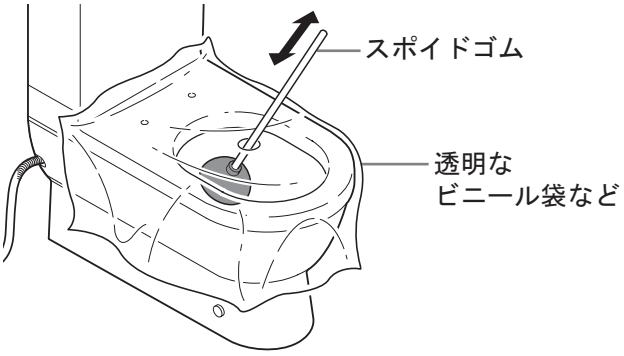
準備するもの

スポイドゴム
（ラバーカップ）

透明な
ビニール袋など

**1 ビニール袋などを便器にかぶせます。**
汚れが周りに飛び散るのを防ぐためです。

**2 スポイドゴムを便器排水口に静かに押しつけ、一気に引き上げます。**
**この動作を数回繰り返します。**
スポイドゴムはゆっくりと押し込んで便器に密着させ、一気に引き上げてください。トイレットペーパー以外の物が詰まった場合、配管が詰まる可能性がありますので、詰まりを押し流すのではなく、引き出してください。
スポイドゴムを使用して詰まりを解消できない場合や、固形の異物が詰まった場合は、お買い上げの工事店または専門業者にご連絡ください。



# 凍結を防止する

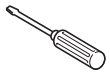
室温が0℃以下になると、タンク内や便器内の水が凍結する恐れがあります。
凍結が予想される場合は**室内を暖房**して凍結しないようにしてください。

| | |
|---|---|
| 必ず実行 | 凍結の恐れがある場合は、暖房するなどしてロータンク内や便器内の溜水を凍結させないようにしてください。<br>（凍結破損でケガをしたり、漏水して家財などを濡らす財産損害発生の恐れがあります。） |

# 長期間使用しないとき

旅行などで長期間留守にするときは、万一の故障や水漏れ防止のために次の手順にしたがってください。

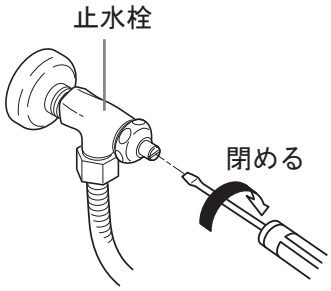
準備するもの



マイナス
ドライバー

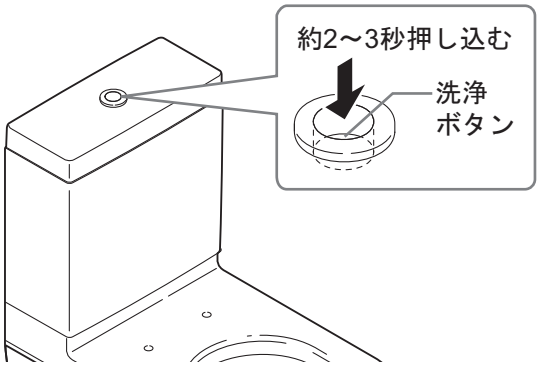
### 1「マイナスドライバー」で止水栓を閉め、水を止めます。

・この時、何周回したかを確認してください。




### 2 洗浄ボタンを押し、タンク内の水を抜きます。

・タンク内の水がなくなったことを確認してください。
・便器内の水は排水できませんので、くみ出すなどの処置が必要です。




### ※ 再度使用するときは、止水栓を開けます。

・止水栓を閉める際に確認していた回転数だけ回して、元の位置まで開けます。
・10ページの「タンクの給水量・水位を調節する」を参照して給水量と水位をご確認ください。

# 故障かな？

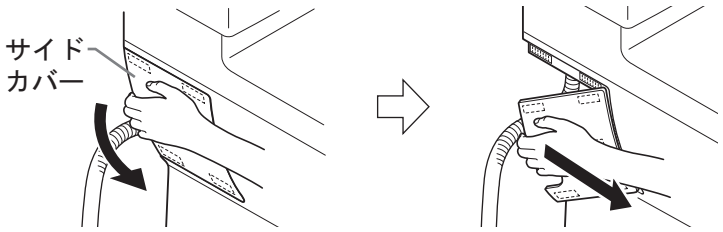
●こんなときには・・・機能が正常に働かないときは、次の要領で点検を行ってください。

| 現象 | 原因 | 対処のしかた | 参照ページ |
|---|---|---|---|
| 便器への水が止まらない | タンクふたを開けてオーバーフロー管に水が流れ込んでいる場合<br>⇒ボールタップが故障している | 止水栓を閉めて修理を依頼してください<br>⇒修理の際は、お買い上げの販売店、工事店またはコールセンターに依頼してください。 | 10 |
| | タンクふたを開けてオーバーフロー管には流れ込んでいない場合<br>⇒フラッシュバルブが故障している | | |
| タンクに水が溜まらない、または溜まるのに時間がかかる | 止水栓が開いていない | 止水栓を開けてください | 6 |
| | ストレーナーにゴミが詰まっている | ストレーナーの異物を取除いてください | 9 |
| 洗浄水の勢いが弱い | 洗浄ボタンを押す時間が短い | 奥まで約2〜3秒押し込んでください | 6 |
| | タンクの水位が低く設定されている | タンクの水位を調節してください | 11 |
| フレキホースの接続部から水漏れする | 止水栓やボールタップ本体との接続部がしっかり取付けられていない | 接続部のナットを「レンチ」などでしっかり締め付けてください | 9 |
| 床に水が漏れている | 便器に結露が発生し床に垂れている | 乾いた布で露を拭き取り、トイレの換気をしてください | 8 |

## サイドカバーの取外しおよび取付け

取外しかた

**サイドカバー後方を手前に引っ張り外します。**

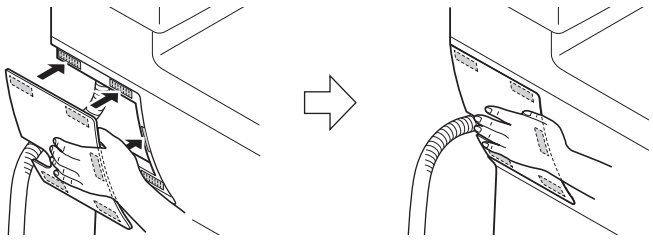



取付けかた

**1 サイドカバーの面ファスナーと便器の面ファスナーの位置を合わせて取付けます。**

**2 面ファスナー（5カ所）をしっかり押さえて、サイドカバーが外れないことを確認します。**
サイドカバーには左右ありますので、ご注意ください。

は、面ファスナー（5カ所）



# アフターサービス

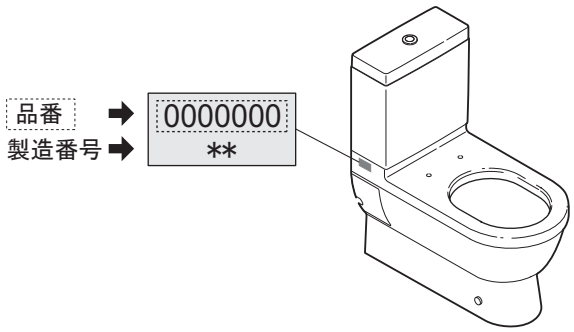
## 保証書と保証期間について

●保証書は、この取扱説明書に付属しています。
●保証書は、販売店で所定事項を記入してお渡しいたします。内容をご確認いただき、大切に保管してください。
●保証期間はお買い上げ日から2年間です。

## 修理を依頼されるときは

機能が正常に働かない時は、「故障かな？」(14ページ)をご確認ください。
それでも正常に働かないときは、すぐにご使用を中止し、止水栓を閉めてから、お買い上げの販売店、工事店またはコールセンターへご連絡ください。

ご連絡の際は、次のことをお知らせください。
①品名：腰掛便器(ノーマル仕様またはリフォーム仕様)／ロータンク
②品番：#DU-2127010000S　／　#DU-2127010000R　／#DU-0932000001
③製造番号(腰掛便器のみ)
④お買い上げ日(またはお取付日)
⑤故障・異常の内容：できるだけ具体的に
⑥ご住所・お名前・お電話番号
⑦(ご訪問が必要な場合)訪問ご希望日、道順




●保証期間中は、保証書の規定に従って修理させていただきます。
なお、保証期間中でも有料になることがありますのでご了承ください。
(詳しくは保証書をご覧ください。)

●保証期間経過後の修理につきましては、お買い上げの販売店、工事店またはコールセンターへご相談ください。故障内容により、修理できる場合はご希望により有料で修理させていただきます。

※修理料金は次の内容の合算により算出されます。

「技術料」：修理および部品交換などの費用
「部品代」：修理に使用した部品代金
「出張料」：技術者を修理場所へ派遣した際の費用

## お問い合わせ先

修理のお問い合わせ、製品に関するお問い合わせは下記のコールセンターにご相談ください。

デュラビットお客様コールセンター
(温水洗浄便座・腰掛便器・ロータンク専用コールセンター)

フリーボイス 0120−962−980　年中無休 受付時間　9:00〜19:00

# 保証書

| | | |
|---|---|---|
| お客様 | (ふりがな) | |
| | お名前 | 様 |
| | ご住所 | 〒 |
| | 電　話 | （　　）　　－ |
| 販売店 工事店 | 店名　住所<br>〒<br>㊞<br>電話（　　）　　－ | |
| お取付日(お買上げ日) | 年　月　日 | |

| | |
|---|---|
| 品　　名 | DURAVIT　腰掛便器・ロータンク |
| 品　　番 | #DU-21270100000<br>#DU-2127010000R<br>#DU-0932000001 |
| 保証期間 | 2年 |

株式会社カクダイ

上欄に記入のない場合は無効になりますので、必ず記入の有無をご確認ください。

本書は腰掛便器・ロータンクに対してのみ有効です。便座に対しての保証を行うものではありません。

本書は、本書記載内容（無料保証規定）で無料修理を行うことをお約束するものです。
保証期間中に故障が発生した場合は、本書をご提示のうえ、お買上げの販売店、工事店またはコールセンターに修理をご依頼ください。
本書は再発行しませんので、紛失しないように大切に保管してください。
なお、本書は日本国内においてのみ有効です。
（This warranty is valid only in Japan.）

## 無料修理規定

1. 商品包装・取扱説明書・取扱表示シールなどの注意書に従った正常な使用、維持管理状態で、保証期間中に故障した場合、無料修理いたします。
2. ご転居、ご贈答品などで、本書に記載の販売店、工事店に修理を依頼できない場合、コールセンターにご相談ください。
3. 保証期間内でも、以下の場合は有料修理とさせていただきます。

(1) 使用、維持管理上の不注意や誤りによる不具合および不当な修理や改造による不具合。
(2) 水道に関する国の基準(水道法)に定められた飲料水の水質基準に適合しない水を給水したことに起因する不具合。
(3) お取付後の取付場所の移動およびそれに伴う落下などによる不具合。
(4) 火災、落雷、地震、噴火、風水害、津波、地盤沈下、雪害などの天変地異、公害(煤煙、塩害、砂塵、各種金属粉、硫化水素ガスなどの各種ガス)、異常電圧、破壊行為、その他事故などによる不具合。
(5) 金属の腐食しやすい環境(海岸付近、温泉地など)に起因する不具合。
(6) 凍結に起因する不具合。
(7) 一般家庭用途以外(業務用途での使用、車両や船舶などの移動体への搭載など)に使用された場合の不具合。
(8) 消耗部品(パッキンなど)の消耗に伴う不具合。
(9) 塗装の色あせやさびなどの経年変化または使用に伴う摩耗などにより生じる外観上の不具合。
(10) 同梱している施工説明書などに基づかない施工および工事に起因する不具合。
(11) 砂やゴミ、給水・給湯配管のさびなどの異物流入および水あかの固着、排水の詰まりに起因する不具合。
(12) 清掃時の不備による汚れ・さび、洗剤や薬品などによる不具合。
(13) 日常のお手入れ箇所（ストレーナーなど）や水抜栓などのOリングやパッキンの摩耗・劣化による不具合。
(14) 本書の期限切れ、または提示がない場合。
(15) 本書にお取付日、お客様のお名前、販売店名、工事店名の記入のない場合、あるいは字句の書き替えられた場合。

部品の交換について
無料修理により取外された部品・製品に対するお客様の所有権は消滅します。

※この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがってこの保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理などにつきましてご不明の場合は、お買上げの販売店、工事店またはコールセンターにお問い合わせください。

※お客様にご記入頂いた保証書は、保証期間内のサービス活動およびその後の安全点検活動のために記載内容を利用させていただく場合がありますので、ご了承ください。
※修理のために、当社から修理委託しているメンテナンス会社などに必要なお客様の個人情報を預託する場合がございますが、個人情報に関する法規制、および当社と同様の諸規定に基づき慎重かつ適切に取扱います。

MEMO

MEMO

MEMO

Duravit JAPAN
info@jp.duravit.com

株式会社カクダイ
本社
〒550-0012　大阪市西区立売堀1-4-4

0712DS/DU　M-F1304
無断転載・複写を禁ず